

平成30年度県民芸術劇場公演

千葉交響楽団メンバーによる弦楽四重奏
”音楽で楽しむ世界の旅”

2019年2月3日(日)／千葉市美術館 1F さや堂ホール
14:00 開演 (開場 13:30)

【出演】荒巻 美沙子(第一ヴァイオリン)、下城 瑠五子(第二ヴァイオリン)
春木 英恵(ヴィオラ)、松本ゆり子(チェロ)

プログラム

- ヴィヴァルディ：「四季」より”春”（弦楽四重奏版）
チャイコフスキー：アンダンテ・カンタービレ
サン＝サーンス：白鳥
ドヴォルザーク：家路（交響曲「新世界より」第2楽章より）
～休憩（10分間）～
スロバキア民謡：タンツィ・タンツィ
ウクライナ民謡：美しいミンカ～コサックはドナウを越えて
ポーランド民謡：踊ろう楽しいポーレチケ
アイルランド民謡：ロンドンデリーの歌
イスラエルの歌：マイム・マイム
ポンセ：エストレリータ
中国の歌：草原情歌
韓国の歌：鳥よ鳥よ青い鳥よ～鳳仙花
日本の歌：さくらメドレー

演奏者プロフィール



第1ヴァイオリン 荒巻 美沙子

兵庫県立西宮高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部を経て、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程室内学科修了。第11回KOBÉ国際学生音楽コンクール最優秀賞、神戸市長賞受賞。ガラコンサートに出演する。2009年東京藝大シンフォニーオーケストラ選抜メンバーとしてベルリン公演出演。これまでにヴァイオリンを加納春春、東儀幸、山岡耕彦、梅原ひまり、玉井菜採、松原勝也、Mark Gothoniの各氏に、室内楽を市坪俊彦、岡山潔、松原勝也の各氏に師事。現在、ソロ・室内楽・オーケストラ等の演奏活動を積極的に行っている。2011年9月より千葉交響楽団団員。



第2ヴァイオリン 下城 瑠五子

京都市立堀川高校音楽科を経て東京音楽大学卒業。2001年～2003年ウィーン市立音楽院に在籍、シュレスヴィヒホルシュタイン音楽祭オーケストラアカデミー、PMFオーケストラアカデミーに招待アカデミー生として参加。2003年よりデンマーク・オルボー交響楽団第1ヴァイオリン奏者、オーフス交響楽団第3コンサートマスター契約団員として所属。現在、千葉交響楽団ヴァイオリン奏者。これまでにヴァイオリンを清水高師、久保陽子、T・コヴァチ、T・クリスティアン、弦楽四重奏をジャパンストリングカルテットに師事。



ヴィオラ 春木 英恵

4歳よりヴァイオリンを学び、12歳の時栃木県学生音楽コンクール弦楽器部門第1位。東京音楽大学入学と同時にヴィオラに転向し、同大学研究科修了。在学中特待生奨学金を得る。読売新人演奏会に出演。練馬新人オーディションにて優秀賞を受賞し、東京ニューシティ管弦楽団と共演。2005年、ドイツの第3回クワッケンブルック国際コンクールヴィオラ部門第2位。2010年4月より千葉交響楽団団員。ヴィオラを兎束俊之、河合訓子、C.ルローン各氏に師事。



チェロ 松本ゆり子

東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て同大学卒業、大学院(室内楽専攻)修了。在学中よりアポロン弦楽四重奏団メンバーとして活動を始め、国際交流基金の派遣により西アフリカ諸国にて演奏したほか、3年に亘り松尾学術振興財団より音楽助成を受ける。1995年より約9年間東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に所属。2018年4月、芥川也寸志メモリアルオーケストラ・ニッポンカの桂冠首席奏者に就任。上野学園大学および甲斐清和高校音楽科講師。